2026 年1月1日以降の実績

１号機

・1 号機使用済燃料プール（以下、「SFP」という）は、一次冷却系の弁の分解点検に伴い、3 月 9 日午前 9 時 57 分、一次冷却系ポンプを計画的に停止した。
停止期間は 1 カ月程度を見込んでいる。
停止時の SFP 水温は 24.5℃。冷却を 1 カ月間行わなかった場合の水温は約 38.7℃になると評価しており、運転上の制限である 60℃には達しないことを確認している。
一次冷却系の弁の分解点検が完了したことから、3 月 31 日午前 11 時 51 分、1 号機一次冷却系ポンプを起動した。冷却再開後の SFP 水温は 32.4℃で安定し、現場に異常がないことを確認している。

・1 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、設備の信頼性向上を目的として制御盤の更新を行う。
これに伴い、当該設備を更新作業開始時、及び終了時に一時的に停止する。
当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 24 条（未臨界監視）に定める施設運用上の基準「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は 1 チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行し作業を実施する。
当該設備の停止予定日は以下のとおり。
なお、制御盤の更新作業は 1 ヶ月程度を計画しており、その間は仮設操作盤を使用して当該設備の B 系排気ファンを運転し、未臨界監視を行う。
＜作業開始時＞
10 月 6 日
＜作業終了時＞
制御盤の更新作業は 1 ヶ月程度を計画している。停止日が決まり次第、別途お知らせする。
また、施設運用上の基準外への移行についての実績は別途お知らせする。
・1 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、設備の信頼性向上を目的とした制御盤の更新に伴い、当該設備を停止することから、10 月 6 日午前 10 時 4 分より特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行した。
当該設備の運転再開については、別途お知らせする。
・1 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、設備の信頼性向上を目的とした制御盤の更新に伴い、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行して作業を開始した。
その後、当該設備については、仮設操作盤を使用して運転を再開し、当該設備の運転状況に異常がないこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、10 月 6 日午後 7 時 10 分に特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第1編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項の適用を解除した。
なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。
また、約 1 ヶ月を予定している制御盤の更新作業終了に伴う当該設備の停止日については、別途お知らせする。
・1 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、設備の信頼性向上を目的とした制御盤の更新に伴い、11 月 4 日当該設備を一時的に停止する。
当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第1編第 24 条（未臨界監視）に定める施設運用上の基準「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は 1 チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第1項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行する。
施設運用上の基準外への移行についての実績は別途お知らせする。
・1 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、設備の信頼性向上を目的とした制御盤の更新に伴い、当該設備を停止することから、11 月 4 日午前 10 時より特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行した。
当該設備の運転再開については、別途お知らせする。

・1 号機原子炉格納容器において一部の温度計指示値は、窒素封入量と排気量のバランスが変化した場合に、大気圧の変動に応じた温度変化が起こることを確認している。
本年 8 月以降、大気圧の変化に伴う温度変化の割合が、8 月以前と比べ大きくなってきていることから、窒素封入量の増加を行い窒素封入量と排気量のバランスを変更する。
なお、その他の原子炉圧力容器温度および原子炉格納容器温度、プラントパラメータには、有意な変動がないことを確認している。
＜原子炉格納容器窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量＞
（10 月 28 日）
窒素封入量:32Nm3/h→35Nm3/h
排気量:16Nm3/h(変更なし)
引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。
・10 月 28 日、窒素封入量を以下のとおり変更した。
＜原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量＞
窒素封入量:32Nm^3/h→35Nm^3/h
排気量:16Nm^3/h(変更なし)
その他の原子炉圧力容器温度計および原子炉格納容器温度計、プラントパラメータには、有意な変動がないことを確認している。
引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。

２号機

・2 号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。

今回、冬季の原子炉注水源の水温低下に伴い、2 号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(1 月 8 日の原子炉注水量変更予定:1.5 m^3/h→1.3 m^3/h)
1 月 8 日午前 10 時 6 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(1 月 8 日の原子炉注水量変更:1.5 m^3/h→1.3 m^3/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、関連パラメータを、慎重に監視していく。

・1、2 号機 SFP の共通設備である二次冷却系については、計装品および電気品の定例点検に伴い、3 月 16 日午前 10 時 2 分、冷却系ポンプを計画的に停止(2 号機 SFP の冷却も停止)した。
二次冷却系の停止期間は 1 週間程度を見込んでいる。
停止時の 2 号機 SFP 水温は 21.8℃。冷却を 1 週間行わなかった場合の水温は約 25.4℃になると評価しており、運転上の制限である 65℃には達しないことを確認している。
計装品および電気品の定例点検が完了したことから、3 月 23 日午前 10 時 10 分、二次冷却系ポンプを起動し、2 号機 SFP の冷却を再開した。冷却再開後の SFP 温度は 28.3℃で安定し、現場に異常がないことを確認している。

2 号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、春季の原子炉注水源の水温上昇に伴い、2 号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(4 月 1 日の原子炉注水量変更予定:1.3 m^3/h→1.5 m^3/h)
4 月 1 日午前 9 時 53 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(4 月 1 日の原子炉注水量変更:1.3 m^3/h→1.5 m^3/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、慎重に監視していく。

・2 号機原子炉圧力容器内部調査においては、ファイバースコープを原子炉圧力容器内に挿入して調査を行う予定であり、挿入するファイバースコープの視認性を向上させるため、4 月 16 日、2 号機の原子炉注水を一時的に停止する。停止時間は 1 時間程度を予定している。
(4 月 16 日の原子炉注水量変更予定:1.5m^3/h→0m^3/h→1.5m^3/h)
一時停止の実績については、別途お知らせする。
4 月 16 日午前 9 時 41 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:1.5m^3/h→0m^3/h)
その後、午前 11 時 51 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→1.5m^3/h)
引き続き慎重に監視していく。

3号機

・3 号機原子炉格納容器内気中部調査(マイクロドローン調査)において、原子炉格納容器内の気中部をマイクロドローンが飛行することから、3 号機の原子炉注水を 3 月 5 日より 2 週間程度の間、断続的に停止する。
(3 月 5 日の原子炉注水量変更予定　調査開始前:3.5m^3/h→調査中:0m^3/h→調査終了後:4.0m^3/h)
2 回目(3 月 6 日)以降の調査における原子炉注水量は、原子炉格納容器の水位および次回調査までの時間を考慮して変更することから、調査開始前の 3.5m^3/h および調査終了後の 4.0m^3/h から増減する。
一時停止の実績については、別途お知らせする。
3 月 5 日午前 10 時 26 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.5m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 30 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→4.0m^3/h)
3 月 6 日午前 10 時 35 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 45 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.8m^3/h)
3 月 7 日午前 10 時 26 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.8m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 2 時 26 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.7m^3/h)
3 月 9 日午前 10 時 43 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 45 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.6m^3/h)
3 月 10 日午前 10 時 36 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.6m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 51 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.6m^3/h)
3 月 12 日午前 9 時 54 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.6m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 54 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.7m^3/h)
3 月 13 日午前 9 時 45 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 1 時 6 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.7m^3/h)
3 月 16 日午前 10 時 4 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7m^3/h→0m^3/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 22 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m^3/h→3.7m^3/h)

3 月 17 日午前 10 時 4 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 13 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m³/h→3.7m³/h)
3 月 18 日午前 10 時 5 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)
その後、調査終了に伴い、午後 0 時 37 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m³/h→3.8m³/h)
3 月 19 日午前 10 時 7 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.8m³/h→0m³/h)
その後、調査終了に伴い、午前 11 時 47 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0m³/h→3.4m³/h)
引き続き慎重に監視していく。

・3 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、点検計画に基づき抽気用ダクトホースの交換作業を行うことから、当該設備を一時的に停止する。
当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 24 条(未臨界監視)に定める施設運用上の基準「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は 1 チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条(保全作業を実施する場合)第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行し作業を実施する。
当該設備の停止予定日は以下のとおり。
＜停止予定日＞
10 月 27 日
また、施設運用上の基準外への移行についての実績は別途お知らせする。
・点検計画に基づく抽気用ダクトホースの交換作業に伴い、当該設備を停止することから、10 月 27 日午前 10 時 11 分より特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条(保全作業を実施する場合)第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行した。
その後、当該設備については、抽気用ダクトホースの交換作業が終了したことから運転を再開し、当該設備の運転状況に異常がないこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、午後 3 時 18 分に特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を解除した。
なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。

４号機

現時点での特記事項なし

５号機

・5 号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)は、燃料プール冷却浄化系の弁の点検に伴い、10 月 26 日午前 10 時 10 分、冷却を計画的に停止した。
停止期間は 5 日間程度を見込んでいる。
停止時の SFP 水温は、23.8℃。冷却を 5 日間程度行わなかった場合の水温は約 39.2℃になると評価しており、施設運用上の基準外である 65℃には達しないことを確認している。

６号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】
現時点での特記事項なし
【H4, H6エリアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】
現時点での特記事項なし
【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】
現時点での特記事項なし
【セシウム除去設備】
現時点での特記事項なし
【多核種除去設備(ALPS)】
現時点での特記事項なし
【増設多核種除去設備】
現時点での特記事項なし
【高性能多核種除去設備】
現時点での特記事項なし
【淡水化装置】
現時点での特記事項なし
【RO濃縮水処理設備】
現時点での特記事項なし
【RO濃縮廃液タンク水処理設備】
現時点での特記事項なし
【その他】
現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。
＜排水実績＞

・一時貯水タンクB　1月1日　午前10時14分～午後3時1分。排水量712m³
・一時貯水タンクC　1月2日　午前10時31分～午後3時17分。排水量708m³
・一時貯水タンクD　1月4日　午前9時48分～午後2時46分。排水量740m³
・一時貯水タンクJ　1月7日　午前10時18分～午後5時。排水量998m³
・一時貯水タンクB　1月9日　午前10時26分～午後5時10分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクD　1月14日　午前10時12分～午後3時30分。排水量790m³
・一時貯水タンクH　1月15日　午前10時19分～午後3時31分。排水量776m³
・一時貯水タンクB　1月17日　午前11時00分～午後4時48分。排水量864m³
・一時貯水タンクC　1月20日　午前11時31分～午後6時21分。排水量1,018m³
・一時貯水タンクJ　1月23日　午前10時28分～午後4時15分。排水量862m³
・一時貯水タンクH　1月24日　午前10時49分～午後2時18分。排水量517m³
・一時貯水タンクB　1月25日　午前10時25分～午後1時52分。排水量514m³
・一時貯水タンクE　1月25日　午前10時28分～午後1時19分。排水量424m³
・一時貯水タンクC　1月28日　午前10時23分～午後2時59分。排水量685m³
・一時貯水タンクK　1月31日　午前9時47分～午後2時18分。排水量674m³
・一時貯水タンクJ　2月1日　午前10時23分～午後3時11分。排水量716m³
・一時貯水タンクH　2月5日　午前10時34分～午後4時34分。排水量894m³
・一時貯水タンクE　2月7日　午前10時13分～午後1時11分。排水量440m³
・一時貯水タンクG　2月11日　午前11時1分～午後2時9分。排水量467m³
・一時貯水タンクB　2月12日　午前10時13分～午後1時11分。排水量443m³
・一時貯水タンクC　2月13日　午前10時11分～午後1時6分。排水量434m³
・一時貯水タンクD　2月18日　午前10時13分～午前11時35分。排水量202m³
・一時貯水タンクE　2月21日　午前10時36分～午後1時35分。排水量443m³
・一時貯水タンクB　2月24日　午前11時18分～午後4時26分。排水量766m³
・一時貯水タンクC　2月28日　午前10時54分～午後2時46分。排水量574m³
・一時貯水タンクD　3月2日　午前10時29分～午後2時1分。排水量505m³
・一時貯水タンクE　3月3日　午前11時34分～午後4時14分。排水量697
・一時貯水タンクF　3月7日　午前11時13分～午後2時24分。排水量472m³
・一時貯水タンクA　3月8日　午前10時52分～午後1時51分。排水量442m³
・一時貯水タンクB　3月10日　午前10時17分～午前11時59分。排水量253m³
・一時貯水タンクC　3月13日　午前10時20分～午前11時57分。排水量240m³
・一時貯水タンクD　3月14日　午前10時15分～午前11時58分。排水量 253m³
・一時貯水タンクE　3月15日　午前11時25分～午後2時42分。排水量489m³
・一時貯水タンクF　3月20日　午前10時54分～午後3時59分。排水量758m³
・一時貯水タンクG　3月21日　午前10時27分～午後1時6分。排水量392m³
・一時貯水タンクA　3月22日　午前10時27分～午後1時52分。排水量507m³
・一時貯水タンクB　3月25日　午前10時18分～午後1時46分。排水量515m³
・一時貯水タンクE　3月31日　午前11時6分～午後2時19分。排水量478m³
・一時貯水タンクH　4月1日　午前10時45分～午後3時40分。排水量733m³
・一時貯水タンクG　4月3日　午前10時23分～午後3時52分。排水量817m³
・一時貯水タンクB　4月4日　午前10時58分～午後2時58分。排水量597m³
・一時貯水タンクA　4月5日　午前10時25分～午後3時7分。排水量700m³
・一時貯水タンクF　4月6日　午前10時40分～午後3時38分。排水量740m³
・一時貯水タンクC　4月7日　午前11時24分～午後5時14分。排水量871m³
・一時貯水タンクD　4月8日　午前10時59分～午後4時11分。排水量774m³
・一時貯水タンクE　4月11日　午前10時31分～午後3時43分。排水量776m³
・一時貯水タンクG　4月12日　午前10時26分～午後3時5分。排水量693m³
・一時貯水タンクH　4月13日　午後0時56分～午後6時37分。排水量845m³
・一時貯水タンクA　4月14日　午前10時9分～午後6時35分。排水量699m³
・一時貯水タンクD　4月16日　午前10時16分～午後2時33分。排水量637m³
・一時貯水タンクB　4月18日　午前10時46分～午後4時12分。排水量810m³
・一時貯水タンクC　4月19日　午前11時17分～午後5時58分。排水量996m³
・一時貯水タンクE　4月28日　午前10時24分～午後4時3分。排水量820m³
・一時貯水タンクA　4月29日　午前10時38分～午後5時27分。排水量1,015m³
・一時貯水タンクB　5月1日　午前10時23分～午後4時56分。排水量977m³
・一時貯水タンクF　5月2日　午前10時21分～午後2時52分。排水量673m³
・一時貯水タンクD　5月3日　午前10時18分～午後4時57分。排水量992m³
・一時貯水タンクG　5月4日　午前10時29分～午後4時25分。排水量883m³
・一時貯水タンクH　5月5日　午前10時31分～午後4時30分。排水量892m³
・一時貯水タンクC　5月6日　午前10時4分～午後4時16分。排水量923m³
・一時貯水タンクJ　5月7日　午前10時44分～午後5時20分。排水量984m³
・一時貯水タンクA　5月8日　午前10時33分～午後4時51分。排水量937m³
・一時貯水タンクF　5月11日　午前11時22分～午後6時1分。排水量991m³
・一時貯水タンクB　5月14日　午前10時16分～午後4時54分。排水量991m³
・一時貯水タンクA　5月16日　午前11時6分～午後5時53分。排水量1,014m³
・一時貯水タンクC　5月17日　午前11時5分～午後3時59分。排水量730m³
・一時貯水タンクG　5月18日　午前10時10分～午後5時2分。排水量1,026m³
・一時貯水タンクD　5月19日　午前10時13分～午後3時30分。排水量785m³
・一時貯水タンクF　5月20日　午前10時3分～午後3時17分。排水量782m³
・一時貯水タンクH　5月21日　午前10時15分～午後3時32分。排水量788m³
・一時貯水タンクK　5月22日　午前10時20分～午後5時4分。排水量1,005m³
・一時貯水タンクG　5月27日　午前10時8分～午後3時32分。排水量804m³
・一時貯水タンクH　5月30日　午前11時28分～午後6時13分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクK　5月31日　午前10時51分～午後3時50分。排水量741m³
・一時貯水タンクA　6月4日　午前10時54分～午後4時26分。排水量800m³
・一時貯水タンクB　6月6日　午前10時10分～午後3時34分。排水量806m³
・一時貯水タンクC　6月7日　午前11時2分～午後3時55分。排水量729m³
・一時貯水タンクD　6月8日　午前10時20分～午後3時57分。排水量837m³
・一時貯水タンクF　6月9日　午前10時15分～午後5時4分。排水量1,016m³
・一時貯水タンクJ　6月10日　午前10時25分～午後3時50分。排水量806m³
・一時貯水タンクH　6月11日　午前10時57分～午後4時54分。排水量888m³
・一時貯水タンクG　6月12日　午前11時18分～午後6時5分。排水量1,011m³

・一時貯水タンクA 6月13日 午前10時41分～午後5時28分。排水量1,012m³
・一時貯水タンクB 6月14日 午前10時29分～午後5時17分。排水量1,015m³
・一時貯水タンクC 6月15日 午前10時37分～午後3時34分。排水量739m³
・一時貯水タンクD 6月16日 午前9時59分～午後2時21分。排水量649m³
・一時貯水タンクF 6月17日 午前10時12分～午後3時33分。排水量798m³
・一時貯水タンクJ 6月18日 午前10時14分～午後4時59分。排水量1,008m³
・一時貯水タンクH 6月19日 午前10時2分～午後2時9分。排水量613m³
・一時貯水タンクK 6月21日 午前10時18分～午後3時53分。排水量834m³
・一時貯水タンクL 6月22日 午前11時26分～午後6時12分。排水量1,009m³
・一時貯水タンクA 6月23日 午前10時30分～午後5時17分。排水量1,011m³
・一時貯水タンクD 6月25日 午前10時19分～午後4時58分。排水量991m³
・一時貯水タンクB 6月26日 午前10時49分～午後3時17分。排水量665m³
・一時貯水タンクC 6月26日 午前10時17分～午後5時3分。排水量1,010m³
・一時貯水タンクF 6月27日 午前10時59分～午後5時44分。排水量1,008m³
・一時貯水タンクJ 6月28日 午前10時14分～午後5時2分。排水量1,013m³
・一時貯水タンクH 6月28日 午前9時55分～午後4時28分。排水量977m³
・一時貯水タンクG 6月29日 午前9時50分～午後4時35分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクK 6月30日 午前11時32分～午後4時56分。排水量806m³
・一時貯水タンクL 7月1日 午前10時37分～午後5時18分。排水量996m³
・一時貯水タンクA 7月2日 午前10時13分～午後2時52分。排水量692m³
・一時貯水タンクD 7月3日 午前10時28分～午後5時10分。排水量998m³
・一時貯水タンクE 7月4日 午前10時35分～午後5時25分。排水量1,020m³
・一時貯水タンクC 7月5日 午前10時07分～午後4時50分。排水量1,000m³
・一時貯水タンクB 7月7日 午前10時55分～午後5時35分。排水量995m³
・一時貯水タンクF 7月7日 午前11時15分～午後6時3分。排水量1,013m³
・一時貯水タンクG 7月8日 午前10時18分～午後5時1分。排水量1,001m³
・一時貯水タンクH 7月8日 午前10時39分～午後5時10分。排水量974m³
・一時貯水タンクJ 7月9日 午前10時8分～午後3時15分。排水量763m³
・一時貯水タンクK 7月9日 午前10時27分～午後3時35分。排水量764m³
・一時貯水タンクA 7月10日 午前10時13分～午後4時50分。排水量986m³
・一時貯水タンクD 7月11日 午前11時16分～午後5時51分。排水量979m³
・一時貯水タンクE 7月12日 午前10時16分～午後4時56分。排水量995m³
・一時貯水タンクC 7月13日 午前11時6分～午後4時27分。排水量797m³
・一時貯水タンクB 7月15日 午前10時22分～午後5時4分。排水量998m³
・一時貯水タンクF 7月16日 午前10時26分～午後3時33分。排水量762m³
・一時貯水タンクG 7月17日 午前11時39分～午後4時22分。排水量701m³
・一時貯水タンクA 7月18日 午前10時10分～午後4時21分。排水量920m³
・一時貯水タンクD 7月19日 午前11時2分～午後3時51分。排水量715m³
・一時貯水タンクJ 7月20日 午前11時10分～午後3時58分。排水量714m³
・一時貯水タンクC 7月21日 午前10時14分～午後3時14分。排水量744m³
・一時貯水タンクH 7月22日 午前10時6分～午後3時33分。排水量812m³
・一時貯水タンクB 7月23日 午前10時33分～午後3時41分。排水量764m³
・一時貯水タンクF 7月25日 午前10時47分～午後3時35分。排水量714m³
・一時貯水タンクG 7月25日 午前11時11分～午後3時56分。排水量708m³
・一時貯水タンクA 7月26日 午前10時11分～午後2時47分。排水量684m³
・一時貯水タンクD 7月27日 午前10時15分～午後2時42分。排水量661m³
・一時貯水タンクE 7月28日 午前10時28分～午後3時22分。排水量730m³
・一時貯水タンクC 7月29日 午前10時18分～午後2時32分。排水量630m³
・一時貯水タンクH 7月31日 午前10時21分～午後2時7分。排水量561m³
・一時貯水タンクJ 7月31日 午前10時47分～午後2時34分。排水量562m³
・一時貯水タンクB 8月1日 午前10時19分～午後2時22分。排水量603m³
・一時貯水タンクK 8月2日 午前10時54分～午後2時58分。排水量604m³
・一時貯水タンクF 8月4日 午前10時27分～午後2時47分。排水量645m³
・一時貯水タンクD 8月5日 午前10時8分～午後2時38分。排水量669m³
・一時貯水タンクC 8月7日 午前10時11分～午後4時54分。排水量1,000m³
・一時貯水タンクE 8月7日 午前10時51分～午後3時53分。排水量752m³
・一時貯水タンクA 8月8日 午前10時28分～午後4時35分。排水量912m³
・一時貯水タンクH 8月9日 午前9時59分～午後3時10分。排水量772m³
・一時貯水タンクJ 8月11日 午前10時36分～午後4時12分。排水量836m³
・一時貯水タンクF 8月13日 午前10時25分～午後3時36分。排水量771m³
・一時貯水タンクD 8月13日 午前10時1分～午後3時20分。排水量791m³
・一時貯水タンクB 8月14日 午前10時16分～午後4時01分。排水量859m³
・一時貯水タンクE 8月15日 午前11時20分～午後5時20分。排水量894m³
・一時貯水タンクK 8月16日 午前11時18分～午後4時47分。排水量816m³
・一時貯水タンクH 8月18日 午前10時23分～午後5時8分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクL 8月19日 午前10時37分～午後2時9分。排水量527m³
・一時貯水タンクA 8月19日 午前10時10分～午後4時52分。排水量998m³
・一時貯水タンクJ 8月20日 午前10時46分～午後4時41分。排水量880m³
・一時貯水タンクF 8月22日 午前11時17分～午後4時19分。排水量752m³
・一時貯水タンクB 8月22日 午前10時55分～午後4時36分。排水量847m³
・一時貯水タンクG 8月23日 午前10時23分～午後5時7分。排水量1,005m³
・一時貯水タンクD 8月24日 午前9時56分～午後3時11分。排水量783m³
・一時貯水タンクK 8月25日 午前10時30分～午後3時48分。排水量789m³
・一時貯水タンクH 8月26日 午前10時4分～午後3時24分。排水量794m³
・一時貯水タンクJ 8月28日 午前10時26分～午後5時12分。排水量1,009m³
・一時貯水タンクA 8月29日 午前10時45分～午後5時28分。排水量1,002m³
・一時貯水タンクC 8月30日 午前10時28分～午後5時11分。排水量999m³
・一時貯水タンクF 8月30日 午前10時47分～午後4時。排水量779m³
・一時貯水タンクG 9月1日 午前11時10分～午後3時52分。排水量698m³
・一時貯水タンクK 9月2日 午前10時17分～午後3時49分。排水量823m³
・一時貯水タンクD 9月3日 午前10時4分～午後2時18分。排水量631m³
・一時貯水タンクL 9月4日 午前10時12分～午後3時51分。排水量843m³

・一時貯水タンクH　9月5日　午前10時36分～午後3時57分。排水量796m³
・一時貯水タンクA　9月6日　午前10時11分～午後3時10分。排水量742m³
・一時貯水タンクF　9月8日　午前11時8分～午後3時5分。排水量589m³
・一時貯水タンクE　9月8日　午前10時39分～午後4時18分。排水量842m³
・一時貯水タンクC　9月9日　午前10時22分～午後3時31分。排水量766m³
・一時貯水タンクK　9月10日　午前10時7分～午後4時16分。排水量915m³
・一時貯水タンクD　9月11日　午前10時29分～午後4時35分。排水量908m³
・一時貯水タンクL　9月12日　午前10時38分～午後4時45分。排水量913m³
・一時貯水タンクH　9月13日　午前10時11分～午後3時6分。排水量730m³
・一時貯水タンクA　9月14日　午前10時9分～午後3時17分。排水量764m³
・一時貯水タンクF　9月15日　午前11時34分～午後6時17分。排水量1,001m³
・一時貯水タンクC　9月16日　午前10時28分～午後2時45分。排水量638m³
・一時貯水タンクE　9月16日　午前10時8分～午後4時57分。排水量1,015m³
・一時貯水タンクK　9月17日　午前10時21分～午後5時2分。排水量996m³
・一時貯水タンクD　9月19日　午前10時26分～午後5時4分。排水量989m³
・一時貯水タンクL　9月19日　午前10時45分～午後5時31分。排水量1011m³
・一時貯水タンクH　9月20日　午前9時57分～午後3時3分。排水量759m³
・一時貯水タンクJ　9月20日　午前10時14分～午後3時26分。排水量775m³
・一時貯水タンクA　9月22日　午前11時21分～午後6時05分。排水量1,004m³
・一時貯水タンクF　9月23日　午前10時17分～午後3時31分。排水量781m³
・一時貯水タンクE　9月24日　午前10時31分～午後5時16分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクK　9月25日　午前10時16分～午後4時58分。排水量998m³
・一時貯水タンクG　9月26日　午前10時41分～午後5時22分。排水量997m³
・一時貯水タンクD　9月27日　午前10時18分～午後4時59分。排水量998m³
・一時貯水タンクL　9月28日　午前10時8分～午後4時51分。排水量1,002m³
・一時貯水タンクH　9月29日　午前10時25分～午後5時5分。排水量994m³
・一時貯水タンクJ　9月29日　午前10時49分～午後5時37分。排水量1,016m³
・一時貯水タンクA　9月30日　午前11時24分～午後4時4分。排水量695m³
・一時貯水タンクF　10月1日　午前9時56分～午後4時51分。排水量1,031m³
・一時貯水タンクC　10月2日　午前10時9分～午後4時50分。排水量995m³
・一時貯水タンクE　10月2日　午前10時30分～午後5時18分。排水量1,016m³
・一時貯水タンクB　10月3日　午前9時58分～午後4時35分。排水量987m³
・一時貯水タンクG　10月3日　午前10時9分～午後3時26分。排水量787m³
・一時貯水タンクK　10月4日　午前11時5分～午後5時53分。排水量1,016m³
・一時貯水タンクD　10月4日　午前10時42分～午後5時31分。排水量1,014m³
・一時貯水タンクH　10月6日　午前10時23分～午後5時1分。排水量989m³
・一時貯水タンクL　10月6日　午前10時54分～午後4時20分。排水量810m³
・一時貯水タンクJ　10月7日　午前10時6分～午後4時57分。排水量1,020m³
・一時貯水タンクA　10月8日　午前10時31分～午後3時52分。排水量799m³
・一時貯水タンクF　10月9日　午前11時9分～午後6時2分。排水量1,027m³
・一時貯水タンクC　10月10日　午前10時22分～午後5時10分。排水量1,015m³
・一時貯水タンクB　10月11日　午前10時56分～午後5時42分。排水量1,010m³
・一時貯水タンクK　10月12日　午前10時31分～午後3時45分。排水量780m³
・一時貯水タンクD　10月13日　午前10時13分～午後5時2分。排水量1,016m³
・一時貯水タンクL　10月14日　午前9時56分～午後3時6分。排水量771m³
・一時貯水タンクG　10月15日　午前10時27分～午後5時5分。排水量988m³
・一時貯水タンクJ　10月15日　午前10時44分～午後5時35分。排水量1,022m³
・一時貯水タンクE　10月16日　午前10時15分～午後4時35分。排水量944m³
・一時貯水タンクA　10月17日　午前10時25分～午後5時3分。排水量989m³
・一時貯水タンクF　10月17日　午前10時46分～午後5時35分。排水量1,016m³
・一時貯水タンクH　10月18日　午前10時～午後2時46分。排水量709m³
・一時貯水タンクB　10月19日　午前10時22分～午後3時37分。排水量783m³
・一時貯水タンクK　10月20日　午前11時14分～午後6時4分。排水量1,019m³
・一時貯水タンクD　10月21日　午前10時15分～午後5時3分。排水量1,014m³
・一時貯水タンクG　10月24日　午前10時51分～午後5時36分。排水量1,006m³
・一時貯水タンクE　10月24日　午前10時33分～午後5時11分。排水量988m³
・一時貯水タンクL　10月25日　午前10時43分～午後5時23分。排水量994m³
・一時貯水タンクJ　10月25日　午前10時24分～午後5時6分。排水量997m³
・一時貯水タンクA　10月27日　午前11時14分～午後4時7分。排水量727m³
・一時貯水タンクK　10月28日　午前10時14分～午後2時58分。排水量706m³
・一時貯水タンクD　10月29日　午前10時13分～午後4時3分。排水量870m³
・一時貯水タンクF　10月30日　午前10時24分～午後4時52分。排水量966m³
・一時貯水タンクC　10月31日　午前10時34分～午後2時58分。排水量654m³
・一時貯水タンクE　11月1日　午前10時24分～午後3時46分。排水量800m³
・一時貯水タンクJ　11月2日　午前9時59分～午後3時20分。排水量798m³
・一時貯水タンクL　11月3日　午前11時22分～午後3時21分。排水量591m³
・一時貯水タンクA　11月4日　午前10時21分～

＜特記事項＞
・サブドレン他水処理施設一時貯水タンクAに貯水していた水の排水について、4月14日午前10時9分に開始したが、同10時11分に自動で停止した。調査の結果、電源盤内のヒューズが切れていたことから、ヒューズの交換を実施。その他の設備に異常がないことを確認し、午後1時53分に一時貯水タンクAに貯水した水の排水を再開した。

・4月24日実施予定であったサブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの排水については、浄化設備の状態確認に伴い運転計画を見直したため、実施日を4月28日に変更する。

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。
＜排水実績＞

・一時貯留タンクグループ２　１月５日午前10時13分～午後４時１分。排水量1,601m^3
・一時貯留タンクグループ３　１月20日午前10時19分～午後５時17分。排水量1,917m^3
・一時貯留タンクグループ１　２月４日午前10時10分～午後２時18分。排水量1,087m^3
・一時貯留タンクグループ２　２月16日午前10時９分～午後５時36分。排水量2,081m^3
・一時貯留タンクグループ３　２月24日午前10時16分～午後４時４分。排水量1,578m^3
・一時貯留タンクグループ１　３月３日午前９時57分～午後２時56分。排水量1,348m^3
・一時貯留タンクグループ２　３月12日午前10時13分～午後４時32分。排水量1,750m^3
・一時貯留タンクグループ３　３月26日午前10時25分～午後６時１分。排水量2,089m^3
・一時貯留タンクグループ１　３月31日午前10時22分～午後５時13分。排水量1,872m^3
・一時貯留タンクグループ２　４月７日午前10時８分～午後３時33分。排水量1,502m^3
・一時貯留タンクグループ３　４月21日午前10時22分～午後４時。排水量1,552m^3
・一時貯留タンクグループ１　４月24日午前10時10分～午後３時。排水量1,312m^3
・一時貯留タンクグループ２　４月29日午前10時３分～午後５時15分。排水量2,029m^3
・一時貯留タンクグループ３　５月７日午前10時15分～午後２時57分。排水量1,282m^3
・一時貯留タンクグループ１　５月11日午前10時17分～午後３時３分。排水量1,299m^3
・一時貯留タンクグループ２　５月17日午前9時50分～午後２時40分。排水量1,353m^3
・一時貯留タンクグループ３　５月24日午前10時41分～午後４時17分。排水量1,539m^3
・一時貯留タンクグループ１　６月11日午前10時11分～午後５時23分。排水量2,007m^3
・一時貯留タンクグループ３　６月12日午前10時25分～午後４時27分。排水量1,672m^3
・一時貯留タンクグループ２　６月22日午前10時８分～午後４時２分。排水量1,637m^3
・一時貯留タンクグループ１　６月30日午前10時17分～午後４時34分。排水量1,734m^3
・一時貯留タンクグループ３　７月13日午前10時20分～午後３時28分。排水量1,419m^3
・一時貯留タンクグループ２　７月17日午前10時18分～午後４時12分。排水量1,592m^3
・一時貯留タンクグループ１　８月６日午前11時12分～午後６時50分。排水量2,135m^3
・一時貯留タンクグループ２　８月14日午前10時35分～午後４時08分。排水量1,557m^3
・一時貯留タンクグループ３　８月16日午前10時38分～午後６時20分。排水量2,163m^3
・一時貯留タンクグループ１　９月１日午前10時12分～午後５時52分。排水量2,118m^3
・一時貯留タンクグループ２　９月６日午前９時32分～午後５時37分。排水量2,293m^3
・一時貯留タンクグループ３　９月15日午前10時46分～午後５時24分。排水量1,840m^3
・一時貯留タンクグループ１　９月22日午前10時40分～午後６時27分。排水量2,169m^3
・一時貯留タンクグループ２　９月30日午前10時８分～午後５時６分。排水量1,949m^3
・一時貯留タンクグループ３　10月９日午前10時20分～午後６時８分。排水量2,178m^3
・一時貯留タンクグループ１　10月20日午前10時21分～午後６時33分。排水量2,298m^3
・一時貯留タンクグループ２　10月27日午前10時17分～午後６時７分。排水量2,209m^3
・一時貯留タンクグループ３　11月３日午前９時56分～午後５時８分。排水量1,995m^3

＜特記事項＞
現時点での特記事項なし
【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】
＜特記事項＞
現時点での特記事項なし
【1号機放水路のサンプリング結果】
＜特記事項＞
現時点での特記事項無し

ALPS処理水測定・確認用タンク

以下、放出実績のみ記載。
＜放出実績＞
・ALPS処理水測定・確認用タンクB群
3月６日午前10時11分～3月24日午後０時６分　7,834m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクA群
4月２日午前11時32分～4月20日午前０時６分　7,865m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクB群
6月１日午前11時28分～6月20日午後０時３分　7,927m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクA群
7月６日午前11時41分～7月24日午後０時２分　7,894m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクC群
7月30日午前11時28分～8月17日午後０時11分　7,888m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクB群
8月31日午前11時29分～9月18日午後０時９分　7,863m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクA群
10月５日午前11時21分～10月23日午後０時９分　7,852m^3
・ALPS処理水測定・確認用タンクC群
10月26日午前11時29分～10月27日午前０時　約236m^3
10月27日午前０時～10月28日午前０時　約456m^3
10月28日午前０時～10月29日午前０時　約456m^3
10月29日午前０時～10月30日午前０時　約456m^3
10月30日午前０時～10月31日午前０時　約456m^3
10月31日午前０時～11月１日午前０時　約456m^3
11月１日午前０時～11月２日午前０時　約456m^3
11月２日午前０時～11月３日午前０時　約456m^3
11月３日午前０時～11月４日午前０時　約456m^3

※なお、「サンプルタンクB群移送工程異常」警報が発生し、6月10日午後4時17分に自動停止した。
放出を停止していたALPS処理水については、調査の結果、「サンプルタンクB群移送工程異常」警報発生の要因と想定される処理水サンプルタンク払出一次弁の交換作業が完了し、準備が整ったことから、6月11日午後4時10分に放出を再開した。
※また、6月13日午後5時04分に「移送工程異常」警報が発生し、自動停止した。
放出を停止していたALPS処理水については、現場調査の結果、設備に異常がなかったため、

双葉線2回線が瞬間的に停止したことにより海水移送ポンプ(A)および)および(B)の流量が低下し緊急遮断弁が閉になり、放出が停止したものと判断しました。
ALPS希釈放出(B群)について、準備が整ったことから、午後10時時34分に放出を再開しました。
放出停止実績 午後5時04分～～午後10時34分

※ALPS処理水測定・確認用タンクB群の攪拌・循環運転を実施しておりましたが、7 月10日午後4 時 17 分に「攪拌・循環受入一次弁の開閉渋滞」警報が発生し、自動停止しました。なお、ALPS処理水測定・確認用タンクA群については、放出を継続しております。
調査の結果、「攪拌・循環受入一次弁の開閉渋滞」警報発生の要因と想定される攪拌・循環受入一次弁の交換作業が完了したことから、7月11日午後3時38分に攪拌・循環運転を再開しました。
運転再開後の現場状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。

その他

【陸側遮水壁】
現時点での特記事項なし
【雑固体廃棄物焼却設備】
現時点での特記事項なし
【増設雑固体廃棄物焼却設備】
現時点での特記事項なし
【窒素封入設備】
現時点での特記事項なし
【その他設備の不具合・トラブル】
・陸側遮水壁設備について、免震重要棟にて警報が発生したため、当社社員が現場を確認したところ、1月8日午前10時00分、陸側遮水壁が全台停止していることを確認。
凍土壁の温度に有意な変動はなく、凍土遮水壁の機能への影響は確認されていない。
また、プラントパラメータ、モニタリングポストの指示値に異常なし。
午前11時12分に陸側遮水壁設備の再起動操作を開始し、午後1時57分に再起動を完了。
その後、設備の関連パラメータに異常が無いことを確認。
なお、陸側遮水壁設備の停止期間は数時間程度であり、陸側遮水壁の温度に有意な変動はなく陸側遮水壁の機能への影響はなし。

・4 月 27 日、午後 2 時 9 分頃、G1 南タンク東側において、当社社員が油膜を発見した。
状況は以下のとおり。
・漏えい範囲 :確認中
・拡大防止処置 :吸着剤による回収作業を実施中(付近に火気なし)
・漏えい継続の有無 :確認中(側溝へ流入あり)
・双葉消防本部への連絡時刻:午後2時28分
現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせする。
その後、当社社員が現場を確認した結果、G1 南タンク東側の敷き鉄板付近に 20m×15m の範囲に油膜が線状に広がっていることを確認し、油膜の回収を 4 月 27 日、午後 3 時 35 分に完了した。また、本事案については、富岡消防署により午後3時14分に「危険性はない」と判断された。
なお、午後 4 時 4 分に BC 排水路放水口周辺および港湾内の確認をした結果、油膜は確認されなかった。

・5 月 28 日午前9時59分、モニタリングポスト(以下、「MP」という。)No.3 において、放射線が上昇したことを示す警報が発生した。
状況は以下のとおり。
・警報発生箇所:MP No.3
・警報名称 :高警報 ※バックグラウンド(BG)＋1μSv／h 以上の上昇を指示
・当該以外の MP の指示値については変動なし
・MP No.3 近傍における線量表示器の指示値については変動なし
午前10時1分にMP No.3の線量高警報が解消した。現在の指示値はBG相当となっている。
MP No.3 の照射試験等の点検を実施し、機器に異常がないことを確認した。
また、線量の変動が確認された時刻に MP No.3 の近傍で線量を変動させる作業は行われていないこと、MP No.3 に設置している他の放射線検出器及び他の MP 及び MP3 近傍に設置した線量表示器にも変動が無かったことから高警報の発生は一時的な電気的ノイズ等の影響によるものと判断した。

・既に燃料取り出しが完了している 3 号機使用済燃料プール循環冷却一次系において、6 月 11 日午後 11 時 30 分、スキマサージタンクの水位低下を確認した。
調査をしたところ、3 号機廃棄物処理建屋床ドレンサンプポンプの運転頻度が増加しているため、一次系の水が当該床サンプに流入した可能性があること、床サンプに流入した量と一次系停止時のスキマサージタンクの水量が同程度であることを確認した。
現時点で確認可能な一次系設備及び建屋外への漏洩がないこと、および使用済燃料プールの水位がオーバーフロー水位付近にあることを確認している。
スキマサージタンクの水位低下の原因が不明であり、かつ、水位低下が継続していることから、6 月 12 日午前 0 時 47 分、一次系ポンプを停止した。
なお、使用済燃料プールの水位は変動していないこと、また、スキマサージタンクについても、一次系ポンプの停止後、水位低下がないことを確認している。
今後調査を行い、状況が分かり次第お知らせする。

・ALPS処理水測定・確認用タンクB群に貯水していた水の放出については、「移送工程異常」の警報が発生し、6月13日、午後5時04分自動停止しました。
現場調査をしたところ、海水移送ポンプ(A)および(B)の吐出流量が低下し緊急遮断弁が閉になったことによる停止であることが判明いたしました。
なお、 現場 調査 の 結果 、 設備に異常がなかったため、双葉線2回線が瞬間的に停止 したことにより海水移送ポンプ (A)および(B)の流量が低下し緊急遮断弁が閉になり、放出が停止したものと判断しま した。
ALPS希釈放出(B)群 について、準備が整ったことから、午後10時34分に放出を再開しました。
・5号機および6号機燃料プールが6月13日午後5時04分に冷却が停止しました。

5号機燃料プール冷却については、現場調査を行ったところ、ろ過脱塩装置が隔離したことにより冷却停止したため、ろ過脱塩装置バイパス弁を開にしたことにより午後5時44分に冷却が再開しました。
6号機燃料プール冷却については、現場調査を行い、異常がなかったことから午後6時29分に冷却を再開しました。
・ 上記2つの事象発生について 、 双葉線が停止した当時には発電所周辺に雷雨が発生していることを確認しています 。

・6 月 18 日午後 6 時 49 分、モニタリングポスト(以下、「MP」という。)No.3 において、放射線が上昇したことを示す警報が発生した。
状況は以下のとおり。
・警報発生箇所:MP No.3
・警報名称 :高警報 ※バックグラウンド(BG)＋1μSv／h 以上の上昇を指示
・当該以外の MP の指示値については変動なし
・MP No.3 低レンジ放射線検出器及び MP No.3 近傍における線量表示器の指示値については変動なし
午後 6 時 54 分に MP No.3 の線量高警報が解消した。指示値は BG 相当となった。
午後 7 時 23 分、MP No.3 において、放射線が上昇したことを示す警報が発生した。
状況は以下のとおり。
・警報発生箇所:MP No.3
・警報名称 :高警報 ※BG＋1μSv／h 以上の上昇を指示
・当該以外の MP の指示値については有意な変動なし
・MP No.3 低レンジ放射線検出器及び MP No.3 近傍の線量表示器の指示値については有意な変動なし
午後 7 時 23 分に MP No.3 の線量高警報が解消した。指示値は BG 相当となった。
警報が発報した午後 6 時 49 分及び午後 7 時 23 分に MP No.3 の近傍で線量を変動させる作業は行われていないこと、MP No.3 低レンジ放射線検出器、他の MP 及び MP No.3 近傍に設置した線量表示器にも有意な変動が無かったことから高警報の発生は一時的な電気的ノイズ等の影響によるものと判断した。
なお、今後機器の点検を実施していく。

・7 月 26 日午後 8 時 31 分ごろ、免震重要棟の火報盤で事務本館の火災警報が発報した。
状況は以下のとおり
・発生時刻 :午後 8 時 31 分
・発生場所 :事務本館
・発見者 :当社社員
・モニタリングポスト指示値 :有意な変動なし
・発電所敷地境界、構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・構内線量表示表示器指示値 :有意な変動なし
・プラント設備への影響 :影響なし
・双葉消防本部への連絡時刻 :午後 8 時 44 分
その後、当社社員による現場確認の結果、火および煙が無いことを確認した。
午後 10 時 00 分、公設消防により非火災と判断された。今後、当該検知器の点検を実施する。

・8 月 1 日午前 11 時 14 分、窒素ガス分離装置(C)において、停止していることを当社社員が確認しました。窒素ガス分離装置(C)を調査した結果、結露水により装置内に水が溜まったことを検知するセンサーが動作し、停止したものと推定されます。
窒素ガス分離装置(C)内の水の排出を行い、復旧作業が完了したことから、午後 3 時 53 分に窒素供給を再開しました。

・8 月 12 日、午後 3 時 54 分ごろ、6 号機高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機室で火災警報が発報した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻 :8 月 12 日午後 3 時 54 分
・発生場所 :6 号機高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機室
・発見者 :当社社員
・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし
・発電所敷地境界、構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・構内線量表示器指示値 :有意な変動なし
・プラント設備への影響 :影響なし
・双葉消防本部への連絡時刻:午後 4 時 1 分
当社社員が現場状況を確認しており、火および煙は確認されていない。
その後、午後 5 時 39 分、公設消防により非火災と判断された。今後、火災警報発報の原因を調査していく。

・8 月 13 日、午前 4 時 56 分ごろ、免震重要棟の火報盤で火災警報が発報した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻 :午前 4 時 56 分
・発生場所 :発電所構内 事務本館
・発見者 :当社社員
・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし
・発電所敷地境界、構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・構内線量表示器指示値 :有意な変動なし
・プラント設備への影響 :影響なし
・双葉消防本部への連絡時刻:午前 5 時 15 分
当社社員による現場確認の結果、火および煙が無いことを確認した。
午前 7 時 32 分、公設消防により非火災と判断された。
今後、当該検知器の点検を実施する。

・8 月 18 日午前 7 時 14 分、5 号機タービン建屋地下 1 階オフガスコンデンサ室周りで火災警報が発報した。

状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:午前 7 時 14 分
・発生場所　　:発電所構内　5 号機タービン建屋地下 1 階
オフガスコンデンサ室周り
・発見者　　:当社社員
・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし
・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・双葉消防本部への連絡時刻:午前 7 時 23 分
午前 7 時 55 分、公設消防により非火災と判断された。今後、当該検知器の点検を実施する。

・8 月 21 日午前 3 時 54 分ごろ、入退域管理棟 1 階で火災警報が発報した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:午前 3 時 54 分
・発生場所　　:発電所構内　入退域管理棟 1 階
・発見者　　:当社社員
・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし
・発電所敷地境界、構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・構内線量表示器指示値:有意な変動なし
・双葉消防本部への連絡時刻:午前 4 時 16 分
当社社員による確認の結果、周辺に火気や煙が無いことを確認している。
その後、午前 5 時 2 分、公設消防の確認により「非火災」と判断された。
今後、当該検知器の点検を実施する。
なお、プラント設備及び発電所敷地内におけるモニタリング結果について異常がないことを確認している。

・8 月 31 日、午前 8 時 16 分、5/6 号機新 S/B 建屋 3 階で火災警報が発報した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:午前 8 時 16 分
・発生場所　　:発電所構内　5/6 号機新 S/B 建屋 3 階
・発見者　　:当社社員
・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし
・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・プラント設備への影響　:なし
・双葉消防本部への連絡時刻:午前 8 時 27 分
その後、午前 8 時 58 分、公設消防により非火災と判断された。

・9 月 3 日、午後 9 時 44 分、水処理制御室建屋で火災警報が発報した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:午後 9 時 44 分
・発生場所　　:発電所構内　水処理制御室建屋
・発見者　　:当社社員
・モニタリングポスト指示値:有意な変動なし
・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値:有意な変動なし
・構内線量表示器指示値　　有意な変動なし
・プラント設備への影響　:なし
・双葉消防本部への連絡時刻:午後 9 時 52 分
その後、午後 10 時 31 分、公設消防により誤警報による非火災と判断された。

・9 月 7 日午前 9 時 33 分頃、建屋内 RO 循環設備において漏えい検知器が作動したことを示す警報が発生した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻:午前 9 時 33 分
・発生場所:建屋内 RO 循環設備配管 B 系トラフ内
・警報名称:RO 循環設備　B 系トラフ内液位高
なお、建屋内 RO 循環設備については、A 系、B 系とも停止中であり、設備パラメータに異常は確認されていない。
トラフ内を確認したところ、水滴および水溜まりがあることを確認した。
トラフ内に溜まっている水については、スミヤ測定結果、pH 値、塩分値を踏まえ、午前 10 時 57 分に雨水または結露水であると判断した。
トラフ内の水溜まりについてサーベイを実施した結果は、以下の通り。
・スミア測定:100cpm(バックグラウンドと同等)
・塩分濃度　:0%
・pH　　:6

・9 月 7 日午前 11 時 17 分頃、1 号機滞留水移送設備において漏えい検知器が作動したことを示す警報が発生した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻:午前 11 時 17 分
・発生場所:1 号機原子炉建屋 1 階
・警報名称:1 号機 R/B(トーラス室)移送ポンプ出口液位(B)高
なお、1 号機滞留水移送設備については、A 系が運転中であったため、当該ポンプを停止した。 その後、現場を確認したところ、1 号機滞留水移送設備の移送配管の下に水の滴下跡は無いことを確認。なお、当該漏えい検知器付近に水が確認されたことから、配管からの漏えいではなく、雨水の流入によるものと午後 6 時 50 分に判断した。
今後、当該の水を処理し、漏えい検知器を復旧した上で、移送ポンプを再起動する予定。

・10 月 19 日午後 2 時 45 分頃、既設多核種除去設備建屋内の高性能容器(HIC)上部に白い粉状のものが付着しており、多核種除去設備の使用済吸着材の可能性があると当社社員から報告があった。
状況は以下のとおり。
・確認時刻　　:午後 2 時 45 分頃
・発生場所　　:既設多核種除去設備建屋内

・設備名称　　:高性能容器(HIC)
・発見者　　:当社社員
・外部への影響　:モニタリングポスト及びダストモニタの指示値に異常はない。
サーベイした結果、汚染がなく、設備に影響がないことを確認した。今後、HIC 上部の白い粉状のもののふき取りを行う予定。
なお、詳細な原因については今後調査していく。

【けが人・体調不良者等】

・1 月 8 日、発電所構内瓦礫類一時保管エリアにおいてノッチタンク減容作業中の協力企業作業員が、ノッチタンク解体片を収納したコンテナ内から移動する際に踏み台を踏み外して転倒したことから、入退域管理棟救急医療室を受診し、「右下腿打撲及び右手首関節打撲」と診断され退出した。
当日、医療機関を受診したところ「右下腿打撲足、右腕打撲、右足下腿部の内出血」と診断され、1 日以上の休業が必要となった。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:1 月 8 日午前 9 時 10 分頃
・発生場所　　:発電所構内瓦礫類一時保管エリア W(屋外)
・負傷者の所属　:協力企業作業員(50 代)
・意識の有無　:有り
・自立歩行　　:可
・身体汚染の有無:無し
・発生状況　　:コンテナ内から移動する際に、踏み台を踏み外して転倒し負傷

・3 月 5 日、協力企業作業員が発電所構外で体調不良を訴えたため、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると診断されたため、午前 7 時 19 分、救急車を要請した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:午前 6 時 48 分頃
・発生場所　　:発電所構外
・体調不良者の所属:協力企業作業員(50 代)
・意識の有無　　:有り
・自立歩行　　:否
・身体汚染の有無　:無し
・発生状況　　:発電所構外で作業開始前に体調不良を訴えた。
当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。
・救急車出発時刻　:午前 7 時 48 分
・救急車到着時刻　:午前 8 時 3 分
その後、当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病(作業に起因するものではない)と判断されている。
なお、個人の疾病であることから病名等については控えさせていただく。

・3 月 11 日、発電所構内　旧協力企業棟前駐車場において、負傷者が発生した。入退域管理棟救急医療室を受診し、救急搬送は不要と判断され退出した。その後、医療機関を受診し診察の結果、「左母指中手骨開放骨折、左手挫創」とされ、1 日以上の休業が必要となった。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:3 月 11 日午前 11 時 39 分頃
・発生場所　　:発電所構内　旧協力企業棟前駐車場
・負傷者の所属　:協力企業作業員(30 代)
・意識の有無　:有り
・自立歩行　　:可
・身体汚染の有無:無し
・発生状況　　: 作業中、動いた角材に接触し、左手指を負傷した。

・4 月 26 日、協力企業作業員が発電所構内増設雑固体廃棄物焼却設備で体調不良を訴えたため、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると診断されたため、午前 4 時 8 分、救急車を要請した。
状況は以下のとおり。
・発生時刻　　:午前 3 時 18 分頃
・発生場所　　:発電所構内増設雑固体廃棄物焼却設備
・体調不良者の所属:協力企業作業員(50 代)
・意識の有無　　:有り
・自立歩行　　:否
・身体汚染の有無　:無し
・発生状況　　:発電所構内増設雑固体廃棄物焼却設備にて放射線管理業務に従事中体調不良を訴えた。
当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。
・救急車出発時刻　:午前 4 時 41 分
・救急車到着時刻　:午前 4 時 55 分
その後、当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病(作業に起因するものではない)と判断されている。
なお、個人の疾病であることから病名等については控えさせていただく。

・7 月 13 日、構内旧企業棟エリアにおいて、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室で医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると判断されたため、午後 1 時 48 分、救急車を要請した。
状況は以下のとおり。
・体調不良者の所属:協力企業作業員(50 代)
・意識の有無　　:有り
・自立歩行　　:可
・身体汚染の有無　:なし
・発生状況　　:作業中に体調不良を訴えた。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着
・救急車出発時刻　:午後 2 時 15 分
・救急車到着時刻　:午後 2 時 31 分
その後、当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、熱中症と判断された。
なお、当該体調不良者は症状が改善したため、業務に復帰している。

・8 月 20 日午前 6 時 45 分頃、サイトバンカ建屋において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると診断されたため、午前 7 時 49 分、救急車を要請した。
状況は以下のとおり。
・体調不良者の所属:協力企業作業員(30 代)
・意識の有無　　:有り
・自立歩行　　:否
・身体汚染の有無　:なし
・発生状況　　:作業中に足の痛みを訴えた。
当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着した。
・救急車出発時刻　:午前 8 時 21 分
・救急車到着時刻　:午前 8 時 38 分
その後、当該負傷者については、搬送先の医療機関での医師の診断の結果、左脛腓骨骨幹部骨折と診断された。

【その他】
現時点での特記事項なし